

内 科（必修）

・ 期間 6 か月（24 週）

千葉医療センター（消化器内科、呼吸器内科、循環器内科を各 8 週ずつ）

研修到達目標が達成できるように努める。

（一般目標）

将来の専攻科にかかわらず、良質な医療を提供するために、内科的知識、技術、態度を身につけ、頻繁に遭遇する内科的疾患を経験し、理解する。

（行動目標）

内科の研修期間中、各種内科をローテーションして、プライマリーケアに必要な知識、技術を身につける

1. 基本的な身体診察法を身につける

- 1) 全身の観察（バイタルサインと精神状態の把握、皮膚や表在リンパ節の診察を含む）ができ、身体所見を記載できる。
- 2) 頭頸部の診察（眼瞼・結膜、口腔、咽頭の観察、甲状腺の診察を含む）ができ、身体所見を記載できる。
- 3) 胸部の診察（聴打診を含む）ができ、身体所見を記載できる。
- 4) 腹部の診察（触診・聴打診を含む）ができ、身体所見を記載できる。
- 5) 骨・関節・筋肉系の診察ができ、身体所見を記載できる。
- 6) 神経学的診察＊ができ、身体所見を記載できる。

意識の質とレベルの評価、利き手、簡単な高次機能（痴呆の有無）、脳神経系、運動系、感覚系、反射、起立歩行、髄膜刺激症状の診察と簡単な評価ができる。

2. 基本的な臨床検査を実施し、結果を解釈できる

必要な検査を自ら実施できることが望ましく、結果を解釈できる。検査の適応が判断でき、結果の解釈ができる。

- 1) 一般尿検査（尿沈渣顕微鏡検査を含む）
- 2) 便検査（潜血、虫卵）
- 3) 血算・白血球分画
- 4) 血液型判定・交差適合試験(A)
- 5) 心電図（12誘導）(A)、負荷心電図
- 6) 動脈血ガス分析(A)
- 7) 血液生化学的検査
 - ・簡易検査（血糖(A)、電解質、尿素窒素など）
- 8) 血液免疫血清学的検査（免疫細胞検査、アレルギー検査を含む）
- 9) 細菌学的検査・薬剤感受性検査

- ・検体の採取（痰、尿、血液(A)など）
- ・簡単な細菌学的検査（グラム染色など）

10) 肺機能検査

- ・スパイロメトリー（VC, FVC, FEV1.0, FEV1.0%, V50, V25）(A)

11) 髄液検査

12) 細胞診・病理組織検査

13) 内視鏡検査

- ・上部消化管内視鏡(A)
- ・上部以外の消化管内視鏡検査
- ・気管支鏡

14) 超音波検査

- ・腹部超音波検査(A)
- ・心臓超音波検査

15) 単純 X 線検査

16) 造影 X 線検査

17) X 線 CT 検査

18) MRI 検査

19) 核医学検査

20) 神経生理学的検査（脳波・筋電図など）

3. 基本的手技の適応を決定し、実施できることが望ましい

- 1) 気道確保を実施できる。
- 2) 人工呼吸を実施できる。（バッグマスクによる徒手換気を含む）
- 3) 心マッサージを実施できる。
- 4) 注射法（皮内、皮下、筋肉、点滴、静脈確保、中心静脈確保）を実施できる。
- 5) 採血法（静脈血、動脈血）を実施できる。
- 6) 穿刺法（腰椎、胸腔、腹腔）を実施できる。
- 7) 導尿法を実施できる。
- 8) ドレーン・チューブ類の管理ができる。
- 9) 胃管の挿入と管理ができる。
- 10) 局所麻酔法を実施できる。
- 11) 創部消毒とガーゼ交換を実施できる。
- 12) 気管内挿管を実施できる。
- 13) 除細動を実施できる。

4. 基本的治療法の適応を決定し、適切に実施する

- 1) 療養指導（安静度、体位、食事、入浴、排泄、環境整備を含む）ができる。

- 2) 薬物の作用、副作用、相互作用について理解し薬物治療（抗菌薬、副腎皮質ステロイド薬、解熱薬、麻薬を含む）ができる。
 - 3) 輸液ができる。
 - 4) 輸血（成分輸血を含む）による効果と副作用について理解し、輸血が実施できる。
5. チーム医療や法規との関連で重要な医療記録を適切に作成し、管理するために
- 1) 診療録（退院時サマリーを含む）を記載し管理できる。
 - 2) 処方箋、指示箋を作成し、管理できる。
 - 3) 診断書、死亡診断書（死体検案書を含む）、その他の証明書を作成し、管理できる。
 - 4) CPC（臨床病理カンファレンス）レポートを作成し、症例呈示できる。
 - 5) 紹介状と、紹介状への返信を作成でき、それを管理できる。
6. 経験すべき症状・病態・疾患
- 患者の症状と身体所見、簡単な検査所見に基づいた鑑別診断、初期治療を的確に行える
- (1) 頻度の高い症状
- (2) *「経験」とは、自ら診療し、鑑別診断を行うこと
- 全身倦怠感
- 1) 不眠
 - 2) 食欲不振
 - 3) 体重減少、体重増加
 - 4) 浮腫
 - 5) リンパ節腫脹
 - 6) 発疹
 - 7) 黄疸
 - 8) 発熱
 - 9) 頭痛
 - 10) めまい
 - 11) 失神
 - 12) けいれん発作
 - 13) 視力障害、視野狭窄
 - 14) 結膜の充血
 - 15) 聴覚障害
 - 16) 鼻出血
 - 17) 嗄声
 - 18) 胸痛
 - 19) 動悸
 - 20) 呼吸困難

- 21) 咳・痰
- 22) 嘔気・嘔吐
- 23) 胸やけ
- 24) 嚥下困難
- 25) 腹痛
- 26) 便通異常(下痢、便秘)
- 27) 腰痛
- 28) 関節痛
- 29) 歩行障害
- 30) 四肢のしびれ
- 31) 血尿
- 32) 排尿障害 (尿失禁・排尿困難)
- 33) 尿量異常
- 34) 不安・抑うつ

(3) 緊急を要する症状・病態

必修項目

下線の病態を経験すること

＊「経験」とは、初期治療に参加すること

- 1) 心肺停止
- 2) ショック
- 3) 意識障害
- 4) 脳血管障害
- 5) 急性呼吸不全
- 6) 急性心不全
- 7) 急性冠症候群
- 8) 急性腹症
- 9) 急性消化管出血
- 10) 急性腎不全
- 11) 急性感染症
- 12) 急性中毒
- 13) 誤飲、誤嚥

(4) 経験が求められる疾患・病態

ただし、皮膚科疾患・眼科疾患については併診患者でも可能とする。

- ① 血液・造血器・リンパ網内系疾患

- 1) 貧血（鉄欠乏性貧血、二次性貧血）
- 2) 白血病＊
- 3) 悪性リンパ腫
- 4) 出血傾向・紫斑病（播種性血管内凝固症候群：DIC）

② 神経系疾患

- 1) 脳・脊髄血管障害（脳梗塞、脳内出血、くも膜下出血）
- 2) 痴呆性疾患 ＊当院では精神科カリキュラムで経験できる
- 3) 脳・脊髄外傷 ＊当院では救急外来・脳神経外科で経験できる
- 4) 変性疾患
- 5) 脳炎・髄膜炎

③ 循環器系疾患

- 1) 心不全
- 2) 狭心症、心筋梗塞
- 3) 心筋症
- 4) 不整脈（主要な頻脈性、徐脈性不整脈）
- 5) 弁膜症（僧帽弁膜症、大動脈弁膜症）
- 6) 動脈疾患（動脈硬化症、大動脈瘤）
- 7) 静脈・リンパ管疾患（深部静脈血栓症、下肢静脈瘤、リンパ浮腫）
- 8) 高血圧症（本態性、二次性高血圧症）

④ 呼吸器系疾患

- 1) 呼吸不全
- 2) 呼吸器感染症（急性上気道炎、気管支炎、肺炎）
- 3) 閉塞性・拘束性肺疾患（気管支喘息、気管支拡張症）
- 4) 肺循環障害（肺塞栓・肺梗塞）
- 5) 異常呼吸（過換気症候群）
- 6) 胸膜、縦隔、横隔膜疾患（自然気胸、胸膜炎）
- 7) 肺癌

⑤ 消化器系疾患

- 1) 食道・胃・十二指腸疾患（食道静脈瘤、胃癌、消化性潰瘍、胃・十二指腸炎）
- 2) 小腸・大腸疾患（イレウス、急性虫垂炎、痔核・痔瘻）
＊当院では外科で経験できる
- 3) 胆嚢・胆管疾患（胆石、胆嚢炎、胆管炎）
- 4) 肝疾患（ウィルス性肝炎、急性・慢性肝炎、肝硬変、肝癌、アルコール性肝障害、薬物性肝障害）
- 5) 膵臓疾患（急性・慢性膵炎）
- 6) 横隔膜・腹壁・腹膜（腹膜炎、急性腹症、ヘルニア）

⑥ 腎・尿路系（体液・電解質バランスを含む）

- 1) 腎不全（急性・慢性腎不全、透析） ＊当院では透析は経験できない
- 2) 原発性糸球体疾患（急性・慢性糸球体腎炎症候群、ネフローゼ症候群）
- 3) 全身性疾患による腎障害（糖尿病性腎症）
- 4) 泌尿器科的腎・尿路疾患（尿路結石、尿路感染症）

＊当院では救急外来・泌尿器科で経験できる

⑦ 内分泌・栄養・代謝系疾患

- 1) 視床下部・下垂体疾患（下垂体機能障害）
- 2) 甲状腺疾患（甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症）
- 3) 副腎不全
- 4) 糖代謝異常（糖尿病、糖尿病の合併症、低血糖）
- 5) 高脂血症
- 6) 蛋白および核酸代謝異常（高尿酸血症）

⑧ 感染症

- 1) ウィルス感染症（インフルエンザ）
- 2) 細菌性感染症（ブドウ球菌、MRSA、A 群レンサ球菌、クラミジア）
- 3) 結核 ＊当院では入院患者を経験できない
- 4) 真菌感染症（カンジダ症） ＊当院では婦人科で経験できる
- 5) 性感染症 ＊当院では婦人科で経験できる
- 6) 寄生虫感染症

⑨ 免疫・アレルギー疾患 ＊当院では救急外来で経験できる

- 1) 全身性エリテマトーデスとその合併症
- 2) 関節リウマチ
- 3) アレルギー疾患

⑩ 物理・化学的要因による疾患

- 1) 中毒（アルコール、薬物）
- 2) アナフィラキシー
- 3) 環境要因による疾患（熱中症、寒冷による障害）

週間スケジュール（消化器）

	午前	午後
月	腹部超音波、上部消化管内視鏡	下部消化管内視鏡
火	腹部超音波、上部消化管内視鏡	ERCP、血管造影、下部消化管内視鏡
水	腹部超音波、上部消化管内視鏡	ERCP、血管造影
木	腹部超音波、上部消化管内視鏡	ERCP、血管造影
金	腹部超音波、上部消化管内視鏡	下部消化管内視鏡

午前の腹部超音波検査や上部消化管内視鏡は指導医と共に週 1 回ずつを基本に経験。

救急患者の対応や病棟業務の他、時間があれば午後の検査業務にも参加する。

月曜日の夕方にカンファレンス有り。

週間スケジュール（循環器）

	午前	午後
月	回診、負荷心筋シンチ	トレッドミル
火	回診、心カテ	心カテ
水	回診、心カテ／ペースメーカー	心カテ
木	回診	心エコー
金	回診、心カテ／ペースメーカー手術	心カテ

空欄は病棟管理

週間スケジュール（呼吸器）

	午前	午後
月		
火		気管支鏡
水		
木		カンファレンス
金		気管支鏡

空欄は病棟管理

週間スケジュール（糖尿病代謝内科）

	午前	午後
		糖尿病教室、回診

空欄は病棟管理